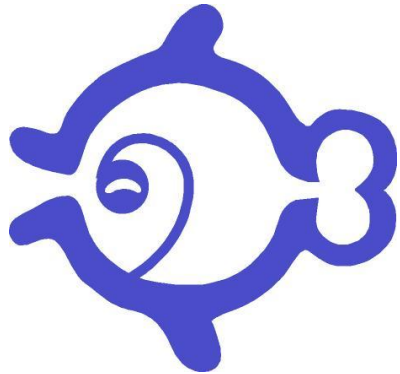
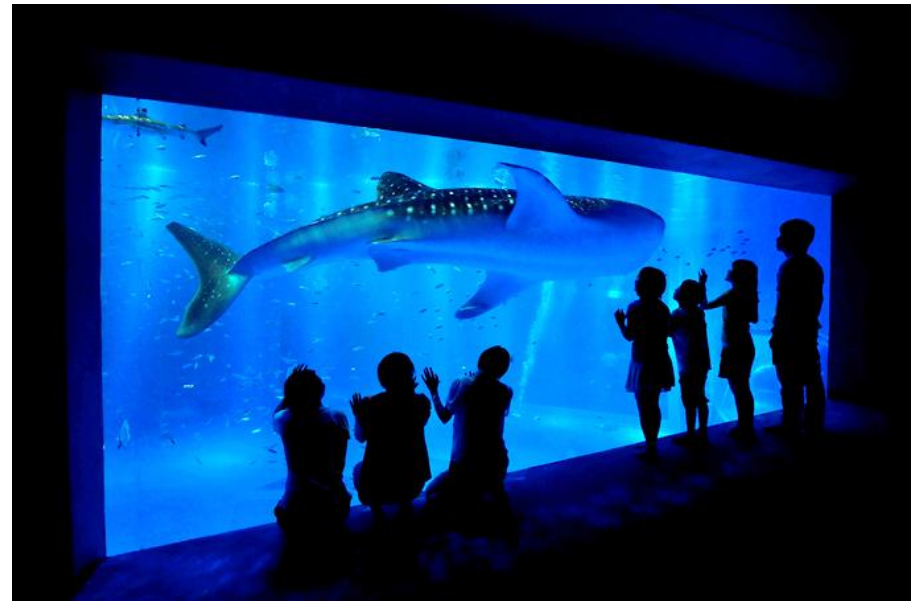


能登半島地震における のとじま水族館の 奮闘と再建



学校名	学 年 クラス
名 前	



のとじま水族館

学びのねらい

- 地震のとき、何があったのか
- 被災したあと、大切なこととは

これまでの道のりで、多くの人に
たくさんの支援と応援をいただきました



メモ





工事の人と力を合わせて
復旧作業を進めました。



2024年7月20日 一部営業再開！

(避難動物は一部のみ展示)

避難していた動物が帰ってきて、すべての展示が
そろいました。また、イルカショーも再開しました。

ついに、

2025年3月22日 完全復活！



令和6年1月1日



地震ですー地震です、
強い揺れに警戒を
下さい



2024年1月1日、水族館は開館していました。
4時30分の閉館まで、あと20分くらいでした。

揺れが収まってから、30人ほどの職員で、館内にいた
約200人のお客さまを安全な場所に避難誘導しました。

その日は高台の駐車場に停めた車の中で一夜を過ごし、
次の日から被害状況の確認が始まりました。



死んでしまった生きものもいましたが、
 生き残った生きものもたくさんいました。
 その生きものたちを守るためにできることは何か!?

あらゆる手段を考えて、行動に移しました。

そして、

きんきゅうひなん
動物たちを緊急避難！！



館内のあちらこちらで被害が出ていました。
 水漏れ 地割れ 陥没など。

能登地域の広い範囲で断水もおこっていました。



多くの動物園と水族館がサポートしてくれました。